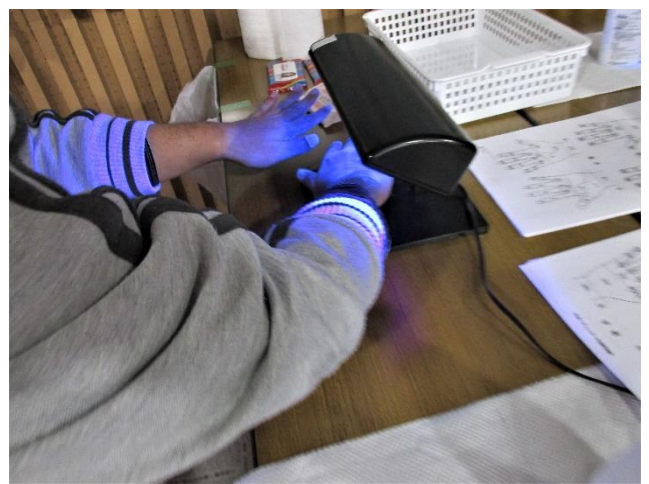


「利用者と職員を守る～防疫と防災～」受講者の感想より

防疫講義の感想

「～正しく知って、正しく予防～障害福祉サービス事業所・施設における感染症対策」

- ・具体的な数値(%)や確率、時間などが示されていたので、施設内スタッフにも伝えやすく、助かりました。
- ・感染症対策で見落とししていたテレビのリモコンや共有のパソコンに気をつけなければいけないことが参考になりました。
- ・日々の感染防止対策を着実に行うことが大切だと改めて感じた。「慣れ」で雑にならない様に職員同士でもチェックし合うことを行わなければと思った。
- ・感染対策の正しい知識を知り、今日学んだことを職場で活かしていきたいと思います。
- ・握手で汚染が広がる様子や、手袋の外し方を実演されたので、わかりやすかった。
- ・処理セットを準備しているが、さっそく点検、補充をしておこうと思う。
- ・手指消毒の重要性が良くわかりました。
- ・聞かされてまた注意事項や情報の更に詳しい理由(根拠)がしっかり学べた。
- ・職場だけでなく、自宅に帰ってからもすぐに行きたい。意外に見落とししていたり気づかなかった感染防止策まで、知ることができ、とっても良い学びとなりました。
- ・新型コロナウイルス感染症の臨床症状や、2020年11月1日からの変更点、濃厚接触者の定義の変更点、重症化しやすい人など現在の新型コロナウイルス感染症の状況を知るよい機会となりました。
- ・標準予防策の基本をあらためて職員、利用者さんにも周知徹底の必要性を感じた。また、環境整備、環境清掃、トイレ清掃に関しても、これまで以上に意識を持って取り組んでいかないと、と思いました。
- ・当法人でも新型コロナが発生したらどうしようかと戦々恐々な中、具体的な対策の参考となりました。
- ・コロナに限らず感染症全般とその対応、清掃法などは日頃に活用できる。職員の啓蒙や利用者、その家族への発信をしていこうと思った。
- ・嘔吐物処理セットを帰って即用意をしたいと思います。
- ・全国的に新型コロナウイルスが猛威をふるっていますが、感染症対策のエキスパートである先生の貴重なお話を拝聴させていただき、大変参考になりました。



防災講義の感想

「自然災害の現況を踏まえた、防災上必要な知識や視点」について

- 防災計画作成のポイントの説明が大変分かりやすかった。
- BCPの必要性を感じる。今後の防災計画も考えていなければならないと痛感した。
- 地震は来るものとして準備しておかなければならないと思った。ハザードマップはすぐに確認したい。
- 自然災害についての避難は、自分は全く想定していなかったので、(火災の避難訓練しかしていなかった) すぐに考えてみます!!
- 情報(正しい情報、新しい情報)を得ることが大事だとわかりました。
- BCPのポイントが良くわかりました。
- 地震のエネルギー等のメカニズム、繰り返されている規則性等、危機感とリアリティーをもって実感できました。そのための備え! 速報から20、30秒で出来ること! 津波到達までの時間で行動の選択! など、事前準備の知恵の必要性を強く感じました。まず、自宅と実家の防災について話し合い、そして職場でも検討をしたいと思いました。
- 南海トラフ地震を想定した防災計画の必要性を強く感じました。防災計画を作成する際も実際の避難訓練を通してPDCAを行い、更新して精度を高めていかなければいけないと感じました。訓練用災害時行動手順チェックシートでは、地震用と風水害用の2種類の災害を自施設に落とし込んで作成する必要があると思いました。
- 今まで情報をしっかり知る機会がなく、恐怖感も増しましたが、安心もありました。職場や家庭でもしっかり防災について考えたいと思います。
- BCP作成にあたって、自分の事業所で何を主体として作成すべきかが明確となり、参考にすべき情報も具体的に知ることが出来た。
- 災害に対する準備や数値として表示するもの等、多くの準備が必要であると感じた。又、今度の防災計画に役立てていきたいと感じる。
- 地震の原因や規模、そして予想される地震の話は専門性があり、非常に興味がありました。楽しかったです。話し方が聞きとり易く良かったです。
- 近い内に地震が必ずくるという事を改めて実感しました。今後の計画に役立てたいと思いました。
- 身近で災害が起きないことが一番だが、南海トラフ地震は近いうちにやってくるだろう、起こるだろうということで、避難の準備はすぐにでもやらなくてはいけないと思いました。

